

令和 6年 9月26日

茨城大学人文社会科学研究科長

原 口 弥 生

「文部科学省 人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業キックオフシンポジウム『ダイバーシティ地域共創教育プログラム』の可能性」を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本シンポジウムでは、プログラムの目的や概要を詳しく紹介すると共に、参加者の皆様と共に、今後の人文・社会科学系大学院の可能性について考えます。学内・学外問わずどなたでも参加できますので、少しでも関心のある方は是非ご参加ください。

記

- 1 開催日時 令和6年10月23日（水）午後1時30分～
- 2 開催場所 茨城大学水戸キャンパス図書館本館3階ライブラリーホール
（茨城県水戸市文京2-1-1）
※オンライン参加も可
- 3 開催内容 資料のとおり
- 4 申し込み 次のURL、または2次元コードよりお申込みください。

<https://forms.gle/hnC6mnJQ8YUwoBxp6>



多様性と脆弱性の尊重から始まるインクルーシブ社会の構築により、
《機会創出》と《課題解決》を実現するダイバーシティ・マネジメント地域共創リーダー学位プログラムの構築

キックオフシンポジウム 『ダイバーシティ地域共創教育プログラム』の可能性

現代社会において、多様性を尊重し、誰もが自らのもつ能力を存分に発揮できる社会を築くことは、極めて重要な課題です。令和7年度から、茨城大学、宇都宮大学、常磐大学の三大学が連携して、新たな大学院教育プログラム「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」を開始します。同プログラムは、地域社会や組織内でのダイバーシティ経営や、持続可能な地域経済の発展に貢献する人材の育成を目指しています。本シンポジウムでは、プログラムの目的や概要を詳しく紹介するとともに、参加者の皆様と共に、今後の人文・社会科学系大学院の可能性について考えます。

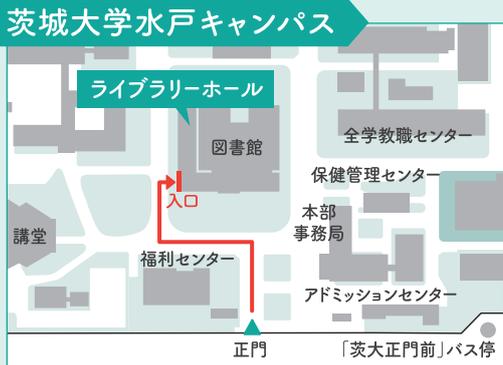


10/23 (水) 13:30-15:40

参加費無料
オンライン参加も可

茨城大学水戸キャンパス図書館本館
3階ライブラリーホール
(水戸市文京 2-1-1)

ライブラリーホールへは正門からお入りください



ACCESS ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

JR水戸駅(北口)バスターミナル⑤⑦番乗り場から茨城交通バス「茨大前行(栄町経由)」などに乗車「茨大前」等で下車。乗車時間は約30分です。
またはJR赤塚駅(北口)バスターミナルから茨城交通バス「茨大前行(曙町経由)」などに乗車「茨大前」等で下車。乗車時間は約20分です。

お申込み

下記URL、または2次元コードよりお申込みください
<https://forms.gle/hnC6mnJQ8YUwoBxp6>



お問合せ

茨城大学大学院人文社会科学系研究科 ✉ diversity-grad@m.ibaraki.ac.jp
※メールの件名は「10月23日シンポジウムについて」にてお願いいたします

プログラム

13:30- オープニング

文部科学省挨拶

三大学挨拶 太田 寛行(茨城大学 学長)

松金 公正(宇都宮大学 理事・副学長)

富田 敬子(常磐大学・常磐短期大学 学長)

「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」について
原口 弥生(茨城大学大学院 人文社会科学系研究科長)

14:10- 第1部 ダイバーシティ & インクルージョンの今

講演1「経済学のジェンダー化への挑戦

ーフェミニスト経済学の現在、そしてこれから」

長田 華子(茨城大学 人文社会科学部 准教授)

講演2「地域における実践事例と本プログラムへの期待」

茨城県ダイバーシティ推進ディレクター 小田木 真代氏

株式会社常陽銀行 人事部ダイバーシティ推進室長 祖父江 真氏

認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons代表理事 横田 能洋氏

15:05- 第2部 パネルディスカッション

テーマ「人文・社会科学系大学院の可能性」

パネリスト:

原口 弥生(茨城大学大学院 人文社会科学系研究科長)

磯谷 玲(宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科社会デザイン科学専攻長)

水嶋 陽子(常磐大学大学院 人間科学研究科長)

モデレーター:

後藤 玲子(茨城大学 人文社会科学部 副学部長)

15:35- クロージング

佐川 泰弘(茨城大学 理事・副学長)

● 司会進行: 宮崎 忠恒(茨城大学 人文社会科学部 准教授)

※予告なく、内容を変更する場合がございます。ご了承下さい。



共催

茨城大学大学院人文社会科学系研究科 / 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科 / 常磐大学大学院人間科学研究科

令和
7年度
から

『ダイバーシティ地域共創教育プログラム』が始まります

「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」で育成する人材像

地域社会や組織内でのダイバーシティ経営や
持続可能な地域経済の発展に貢献する人材を育成することを目指します。

1. ダイバーシティとインクルージョンの専門家
2. 地域における価値共創の推進者
3. メディア戦略やコミュニケーションのエキスパート

ダイバーシティ地域共創
教育プログラム



企業
自治体
NPO等

01

「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」の特徴

連携大学とのネットワーク構築による新たな教育課程

- ・各分野の地域リーダーに必要とされるダイバーシティ & インクルージョンの概念、政策、課題を、連携大学の教員と協力して総合的に学修する機会を提供します。
- ・連携大学の研究科間で単位互換等が可能になるため、多様な学修機会を享受できます。

新たな教育課程を支える支援体制

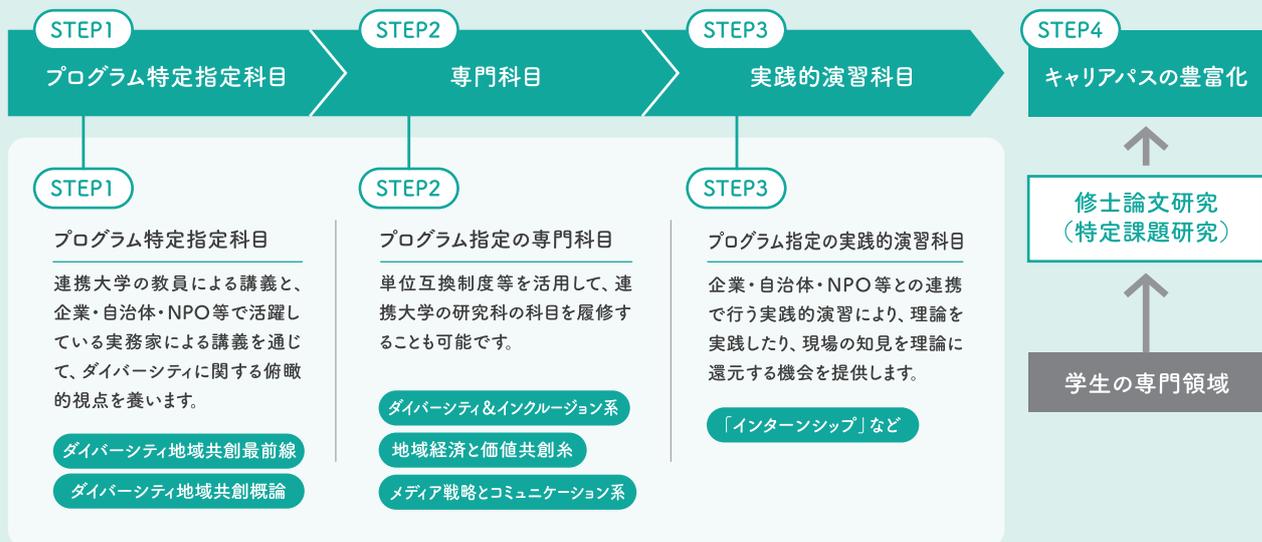
- ・企業、自治体、NPO 法人でのインターンシップなど、国内外の実践的な演習を通じて、理論と実践を往還する機会を提供し、組織的なキャリアサポートにつなげます。
- ・茨城大学ではUEA (University Education Administrator) を配置するなど、学生のチャレンジを後押しします。



02

「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」のカリキュラム(イメージ)

- ・本教育プログラムの科目には、ダイバーシティに関する幅広い視点を提供するものから、最新のダイバーシティ・マネジメントに関するものまで、豊富な内容が用意されています。
- ・学生は、自分の専門領域に加えて、サブメジャーとして本教育プログラムを履修します。所定の修了要件を満たした学生には、自分の専門領域の修士号に加えて、本教育プログラムの修了証が付与されます。



03

キックオフシンポジウムに関する

お問合せ

茨城大学大学院人文社会科学研究科 [✉ diversity-grad@m.ibaraki.ac.jp](mailto:diversity-grad@m.ibaraki.ac.jp)
※メールの件名は「10月23日シンポジウムについて」にてお願いいたします

お申込み

下記URL、または2次元コードよりお申込みください
<https://forms.gle/hnC6mnJQ8YUwoBxp6>

